

普及だより

●編集発行

大隅地域振興局農林水産部農政普及課

肝属地域農業改良普及事業協議会

ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ao01/chiiki/osumi/index.html>

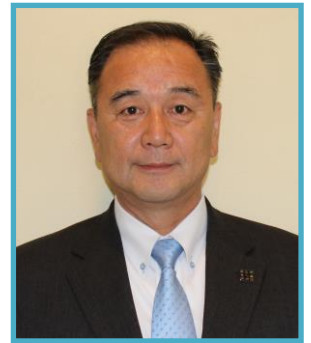
鹿屋市打馬2丁目16-6

TEL: 0994-52-2146

FAX: 0994-52-2147

<新年明けましておめでとうございます!!>

◎肝属地域農業改良普及事業協議会会長 森田 俊彦(南大隅町長)



皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、昨年は災害が大変多い年でした。7月の豪雨や台風第21号、台風第24号等の災害により、肝属地域においても農業用ハウスや畜舎等の崩壊など甚大な被害が発生し、あらためて災害への備えの必要性を感じたところです。

一方、農林水産業は大きな転換期を迎え、昨年末にはTPPが発効されました。今後日本に入ってくる農産物等の関税が下がり、輸入品の増加に伴う農業の競争は激化していくことが予想されます。

そのような国際化の進展に加え、担い手不足や農業者の高齢化に対応するため、農業の競争力強化を図ることはもちろんのこと、特に、AI、IoTなどの先端技術を活用した農業を推進することが必要であると考えています。当協議会では、本年度も引き続き、関係機関・団体と緊密な連携を図りながら、災害からの早期復旧や、地域農業・農村の発展に尽力してまいります。

最後に、皆様方の御健康と御多幸を願い、本年が肝属地域の農業・農村の更なる飛躍の一年となりますよう心から御祈念申し上げます。

◎大隅地域振興局 農林水産部 農政普及課長 翁長 武利



皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、肝属地域におきまして、肝属中部畑かんの本格通水開始や、かごしまブランド「東串良のきゅうり」産地指定10周年記念大会、県ホルスタイン共進会や県畜産共進会等で優秀な成績を収めるなど、明るい話題が続きました。これもひとえに生産者をはじめ関係機関皆様の御尽力の賜物であり、厚く御礼を申し上げます。

一方、農業・農村を取り巻く情勢は、農業従事者の減少や高齢化の進行、グローバル化の進展など、大きな変化に直面しており、また、台風などの被害も発生しております。このため、農政普及課では、意欲ある経営体や若手農業者の育成、肝属の特性を活かした産地づくり、持続的発展のための営農システムづくりなど、今後も皆様方と一体となって、精一杯取り組んでまいります。一層の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様方の御健康と御多幸を祈念し、本年も、肝属地域の農業にとりまして、実り多き一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

< 第67回鹿児島県畜産共進会結果 >

～肝属地区の肉用牛が優秀な成績を収める～

9月29日、始良中央家畜市場において、第67回鹿児島県畜産共進会が開催され、県内各地区から選抜された肉用牛58頭が出場し月齢などによる3部門で審査が行われました。

その結果、若雌1区、若雌2区、父系群区（3頭1組）の全ての区において、肝属地区の生産者が最優秀1席を獲得するという快挙を成し遂げました。

また、本大会の最高賞である**グランドチャンピオン（農林水産大臣賞）**には、父系群区の3頭の肉用牛が選ばれました。

さらに、**団体優勝も肝属地区農協**が獲得するなど、肝属地区での肉用牛改良増殖の底力を示す結果となりました。主な成績は以下のとおりです（以下、敬称略）。

○最優秀1席	若雌1区	岩元 鉄雄	（鹿屋市）
	若雌2区	鳥丸 美知也	（肝属郡肝付町）
	父系群	住倉 秀義、青木 春佑、本村 いつみ	（鹿屋市串良町）
○特別部位賞	体積	森岡 雄次	（曾於市末吉町）
	種牛性	鳥丸 美知也	（肝属郡肝付町）
	前駆	本村 いつみ	（鹿屋市串良町）
	後軀	内山 健一郎	（曾於市末吉）
	肢蹄	岩元 鉄雄	（鹿屋市）
	育一性	住倉 秀義、青木 春佑、本村 いつみ	（鹿屋市串良町）
○グランドチャンピオン（農林水産大臣賞）	住倉 秀義、青木 春佑、本村 いつみ（鹿屋市串良町）		
○団体優勝	肝属地区農協		



若雌1区（最優秀1席）
岩元鉄雄（鹿屋市）



若雌2区（最優秀1席）
鳥丸美知也（肝属郡肝付町）

< 農業経営者クラブ女性研修 in 肝属 >

～農業の活力は女性から～

1 はじめに

県農業経営者クラブでは、毎年、地区持ち回りで女性クラブ員の研修を開催しています。

今年度は肝属地区が担当し、8月28～29日の日程で、NHKの大河ドラマ「西郷どん」で一躍有名となった南大隅町の雄川の滝や佐多岬を巡り、クラシックぶどう浜田農園を研修先として行い、県内各地から37名のクラブ員に参加いただき盛大に開催することができました。

2 ユクサおおすみ海の学校（昼食会場）

鹿屋市立菅原小学校の廃校舎を利活用した、地元の農家や漁師の仕事を体験できる体験型宿泊施設を視察し、地元食材を用いた昼食を堪能しました。施設内には、Tシャツなどのプリントショップやチョコレート製造施設が有り、カカオ豆から作るビターなチョコやサクッとしたクランチチョコを美味しく試食しました。



<ユクサおおすみ海の学校で説明を聞く会員>

3 雄川の滝～佐多岬

昼食後には、雄川の滝へ向けて出発しました。雄川の滝は、NHK大河ドラマ「西郷どん」のオープニング映像に登場してから、観光客が急増した景勝地です。

当日は、晴天にも恵まれ、水面に光が差し、非常に美しい風景でした。クラブ員は、駐車場から1 kmほどある散策路を軽やかに行き来し、日頃農作業で鍛えた足腰の強さにも驚かされました。その後、雄川の滝から佐多岬へと向かいました。晴天で、遠くの種子島や屋久島、馬毛島が手に取るようにはっきりと見え、海に目をやるとウミガメが数頭泳ぎ、クラブ員を歓迎していました。



<雄川の滝での集合写真>

4 クラシックぶどう浜田農園

園主の濱田さんから、クラシックを聴きながらぶどう狩りをするスタイルをアピールするために、観光農園のオープニングセレモニーでは本物のクラシック楽団がぶどう園で演奏することなどの説明を受け、クラブ員は、特徴ある経営に興味を示していました。また、試食後は、お気に入りのぶどうをたくさん買い求めていました。さらに、浜田さん経営の「花瀬川苑」で、花瀬川の清流の音を聞きながらそうめん流しも楽しみました。



<浜田農園での説明を聞く会員>

5 最後に

この女性研修では、女性会員のものすごいパワーを感じられ、農業の活力は女性から発されていることがよく分かる研修となりました。

< 指導農業士が新規就農者を巡回訪問 >

1 指導農業士とは？

指導農業士は、知事から認定され、農業・農村の振興のために次のような活動を行っています。

- ①新規就農者や青年農業者へのアドバイス
- ②魅力ある農業経営の実現
- ③地域農業振興に関わる活動への参画

2 肝属指導農業士会の活動について

肝属指導農業士会は、県内で**最も多い46名**の会員で活動しており、3つの地区に分かれて活動しています。

- 北部地区** 垂水市、鹿屋市輝北、旧鹿屋地区
- 東部地区** 鹿屋市串良、鹿屋市吾平、東串良町、肝付町
- 南部地区** 錦江町、南大隅町

各地区での**新規就農者の巡回訪問指導**をはじめ、新規就農者や青年農業者を対象にした**研修会での助言指導**、会員の資質向上のための**夫婦研修会**など様々な活動を行っています。

また、**肝属地区現地就農トレーナー活動検討会（ブロック研修）**を各地区持ち回りで行い、現地視察や会員の事例発表、地元農業青年クラブ（4Hクラブ）のプロジェクト発表などを行い、活動についての検討や情報交換を行っています。

3 新規就農者の巡回訪問指導

今年も9～11月にかけて、各地区の指導農業士会が、地元の女性農業経営士や農業青年クラブ、市町、JA、振興局と一緒に新規就農者の巡回訪問指導を行いました。

巡回では、**新規就農者の就農の経緯や営農状況、悩みや課題等を話し、指導農業士らがそれぞれアドバイス**を行い、意見交換をしました。

新規就農者は、同じ品目を栽培している指導農業士からの技術的なアドバイスや関係機関からの情報提供等を熱心に聞きながら、農業への想いや夢を語るなど相互に充実した巡回訪問となりました。

また、**農業青年クラブの活動紹介**に興味を持つ新規就農者もあり、巡回訪問がきっかけで農業青年クラブに入った新規就農者も過去にたくさんいます。

指導農業士会は、次年度以降も新規就農者の巡回訪問指導を行い、新規就農者の育成と地域農業の振興に努めていきます。



<肝属指導農業士会ブロック研修>



<北部地区の新規就農者巡回訪問>



<東部地区の新規就農者巡回訪問>



<南部地区の新規就農者巡回訪問>

知って**得**する!技術情報!!～茶編～
 < 春期のカンザワハダニの発生量予測 >

1 カンザワハダニの被害

カンザワハダニは、茶のあらゆるステージの葉を**吸汁加害**します。被害は、収量・品質に影響し、高密度時には落葉することもある茶の重要害虫です。

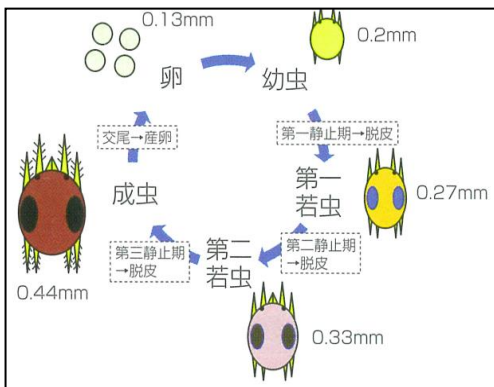


<被害葉（緑が抜ける）>

2 カンザワハダニの生態

カンザワハダニの雌成虫は、冬期に休眠して、**2月下旬から3月上旬に休眠から覚め、産卵を開始**します。越冬中の雌成虫は鮮やかな赤色をしており、休眠から覚めた雌成虫は暗赤色になります。

春期は一番茶摘採前後に成虫が多くなり、秋期は9月中旬頃から増加し始め、10月下旬から11月にピークになります。**葉裏のみ生息**し、裾葉に多いです。



<カンザワハダニの雌の一生>

<越冬中の雌（鮮やかな赤色）>

<休眠から覚めた雌（暗赤色）>

3 春期のカンザワハダニの発生量予測

農業開発総合センター茶業部環境研究室の研究成果により、本県における雌成虫は、**10月4半旬から11月3半旬までの平均気温が17.5℃より高いと、非休眠雌の割合が高まって産卵数が多くなり、さらに、1月の平均気温が7.6℃より高いと産卵数が増えることが分かりました。**

これによりカンザワハダニの春期発生量を予測することが可能であり、防除の目安に活用できます。（表1）

<表1 気温による春期のカンザワハダニ発生量の予測>

		前年10月4半旬～11月3半旬の気温	
		17.5℃より高い	17.5℃より低い
1月の平均気温	7.6℃より高い	多発生	並～多発生
	7.6℃より低い	少～並発生	少～並発生

4 カンザワハダニの防除

春期は、産卵数増加前の**平均気温が10℃を越える時期（2月下旬～3月中旬）に防除**します。秋期は、カンザワハダニの発生量に応じて、10月下旬～11月下旬に防除します。カンザワハダニ防除の農薬散布は、**葉裏にかかるよう**丁寧に行いましょう。

知って**得**する!技術情報!!～果樹編～
 < 露地びわの低樹高化で作業性向上! >

これから露地びわの袋かけ作業の時期を迎えます。4月下旬から5月になると収穫です。これらの作業は、樹高の高い樹ですと脚立を使う場面が多くなります。作業中、脚立が傾いてヒヤッとしたことはありませんか？ 若い頃は何でもなかったことが年をとると、大きなけがにつながります。

そこで、今回は安全に作業ができる露地びわの低樹高化の方法とその効果について紹介します。

現 状

樹が大きくなりすぎて、誘引もできないよ！（密植状態）



低樹高化の
方法

- 1 縮・間伐の実施
 - ・永久樹（残す樹）と間伐樹を決定
 - ・間伐樹を縮める（縮伐）か、根元から伐採（間伐）
- 2 永久樹の処理
 - ・樹高を切り下げる（芯を抜く）
 - ・強い立ち枝は剪定
 - ・枝を横方向に誘引



処理前

低樹高化



処理後

低樹高化の
効果

- 1 良好な結果枝が作られ、収量増加
 - ・日当たり良好だもんね！
- 2 作業効率の向上
 - ・脚立なしで作業できるから、安全で作業が早いね！
 - ・農薬散布や収穫等の作業もラクだね！

低樹高化のタイミングは収穫後すぐです。早速、今年から始めましょう！

知って得する! 技術情報!! ~畑かん編~

< 畑かん利用で計画的な作付けを実践 >

国営かんがい排水事業肝属中部地区(鹿屋市, 肝付町, 受益面積 1,537ha)では, 荒瀬ダムの完成により, 一部で通水が開始されています。今後も順次, 通水区域が拡大していく予定です。

今回は, 畑かん利用の効果について紹介します。

- ① 雨を待たずに計画的に作付けできる。(基礎水として散水し, 畝立て準備)
- ② 初期生育の促進で, 安定した収量が得られる。
- ③ 計画的な作付けにより, さつまいも収穫後に露地野菜等との輪作体系が確立できる。
- ④ 自然災害の軽減ができる。(干ばつ, 台風後の塩害, 降灰 等)
- ⑤ 防除作業等の効率化ができる。(希釈水の補給, トラクター等のほ場内での泥落とし 等)

通水予定地区の農家のみなさんには, 戸別訪問などで開栓・散水器具導入の説明を行う予定です。

県営事業期間中は農家負担約2割で散水器具の導入ができますので, 早めに開栓・散水器具を申込みましょう。 申込先は, 肝属中部土地改良区(45-7120)または, 鹿屋市役所農地整備課, 吾平総合支所産業建設課, 肝付町役場農業振興課です。

【主な散水器具】

<p>埋設固定式散水施設 (レインガン)</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散水器具の設置, 撤去が不要なので, 労力負担がありません。 ・散水位置が高いため, 草丈の高い作物にも適しています。 ・畑に固定設置する施設のため, 所有農地等が中心となります。 	<p>万円/30a</p> <table border="1"> <tr> <th>概算費用</th> <th>受益者負担額※</th> </tr> <tr> <td>116</td> <td>23</td> </tr> </table>	概算費用	受益者負担額※	116	23	<p>走行式散水施設 (ロールカー)</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の畑の散水に適しています。 ・散水器具の設置, 撤去は容易に出来るので, 労力負担が少ないです。 ・散水位置が低いので, 草丈の高い作物には適しません。 ・事業導入の下限面積が60aとなっています。 	<p>上段: 万円/台 下段: 万円/30a</p> <table border="1"> <tr> <th>概算費用</th> <th>受益者負担額※</th> </tr> <tr> <td>175</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>88</td> <td>18</td> </tr> </table>	概算費用	受益者負担額※	175	35	88	18
概算費用	受益者負担額※												
116	23												
概算費用	受益者負担額※												
175	35												
88	18												
<p>噴射ホース</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散水の粒滴が細かく, は種(定植)直後や, 背の低い作物への散水に適しています。 ・散水器具の設置, 撤去は容易に出来るので, 労力負担が少ないです。 ・風の影響を受けやすいので, 散水むらに注意が必要です。 	<p>万円/30a</p> <table border="1"> <tr> <th>概算費用</th> <th>受益者負担額※</th> </tr> <tr> <td>77</td> <td>15</td> </tr> </table>	概算費用	受益者負担額※	77	15	<p>レインガン</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常, 散水位置は低いですが, 草丈の高い作物の場合は接続管により対応可能です。 ・播種直後でも, ヘッドの調整ねじで水滴を細かくすると安心して利用できます。 	<p>万円/30a</p> <table border="1"> <tr> <th>概算費用</th> <th>受益者負担額※</th> </tr> <tr> <td>82</td> <td>16</td> </tr> </table>	概算費用	受益者負担額※	82	16		
概算費用	受益者負担額※												
77	15												
概算費用	受益者負担額※												
82	16												
<p>スプリンクラー</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散水位置は高いので, 草丈の高い作物にも散水できます。 ・機材が軽いので, 小面積の畑では, 設置が比較的容易です。 ・30a当たりでは設置本数(14本)が多く, 設置・回収に労力が必要です。 	<p>万円/30a</p> <table border="1"> <tr> <th>概算費用</th> <th>受益者負担額※</th> </tr> <tr> <td>105</td> <td>21</td> </tr> </table>	概算費用	受益者負担額※	105	21	<p>定流量自動停止弁</p> <p>・上記散水器具(ロールカー除く)と組み合わせることで, 定量(例: 20t/10a)を散水後に自動停止するので, 非常に便利です。(ロールカーは定量散水後自動停止するので不要)</p> 	<p>万円/台</p> <table border="1"> <tr> <th>概算費用</th> <th>受益者負担額※</th> </tr> <tr> <td>25</td> <td>5</td> </tr> </table>	概算費用	受益者負担額※	25	5		
概算費用	受益者負担額※												
105	21												
概算費用	受益者負担額※												
25	5												
<p>畑かん利用賦課金</p> <p>普通畑: 3,600円/10a 茶(防霜): 9,000円/10a 施設※: 9,000円</p>													

<平成30年度 肝属地区青年農業者会議を開催！>

～プロジェクト活動発表・意見発表～

肝属地区農業青年クラブ連絡協議会では、平成30年10月12日に地区年青年農業者会議を開催し、青年農業者をはじめ指導農業士など54人の出席のもと、プロジェクト発表の部3課題、意見発表の部3課題の発表があり、素晴らしい発表の連続でした。

【プロジェクト発表の部】

発表者氏名	所属クラブ名	発表課題
池田 光星	翔南倶楽部	有機茶栽培への挑戦（茶）
村口 達彦	肝付町ほよし耕心会	カラーピーマン「ひび果」発生要因の解明（施設野菜）
大平 隆章	鹿屋農業青年クラブ	現在（いま）ぼくらに出来ること。 ～伝われ！！このheart～（地域活動）



プロジェクト発表の部では、2人が日頃実践している技術や経営の課題、1人がクラブ員共通の課題について、その成果を発表しました。

最優秀賞の鹿屋農業青年クラブの大平隆章さんは、クラブ員の共通する課題に、農業の魅力を伝えることを取りあげ、子供たちへの「食育レンジャーショー」や野菜栽培の体験、親子でのピザ作りに取り組んだ結果、「食」の大切さや、地元農産物のPRに繋がったことを報告しました。

【意見発表の部】

発表者氏名	所属クラブ名	発表課題
若松 慶弘	鹿屋農業青年クラブ	初めてを自分のものにするまで（生産牛）
前園 優作	東串良町4Hクラブ	私とピーマン経営（施設園芸）
松元 真也	翔南倶楽部	1ターン3年目をむかえて（施設園芸）

意見発表の部では、3人が、就農のきっかけや農業経営への考え方、将来の目標や夢、農業に対する思いについて発表を行いました。

最優秀賞の東串良町4Hクラブの前園優作さんは、幼い頃から両親の農作業を手伝いながら農家への思いを持っていたが「社会経験を積んだ方がよい」と父の助言から、民間企業に勤務。結婚により新たな家族が出来たものの、仕事が忙しく家族との時間がとれないことに困惑し、就農を決意。今は、農業経営の楽しさや辛さ、家族との時間がとれる幸せを感じていると熱く語りかけました。



今年度は、県青年農業者会議が2月に日置市で開催されます。そこで、地区代表として、プロジェクト発表の部に最優秀賞の大平隆章さん、意見発表の部に最優秀賞の前園優作さんが選出され、県大会で発表します。

めざせ！九州大会&全国大会！



発表した青年たち6人です！

（左から 若松氏、前園氏、松元氏、池田氏、村口氏、大平氏）